

KIBO NO NIJI きぼりの虹

発行所
 北海道大学生協同組合
 札幌市北区北8条西7丁目
 教職員委員会編集
 電話 011-746-6218



在りし日の跨道橋

主な記事紹介

- 二面 三面 **ニホンザルこぼれ話 第7話**
- 四面 **アノハシに、さよならを**
- 五面 **アイヌからみた北海道150年**

北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する縄文時代の遺跡で構成される「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、2021年ユネスコの世界遺産への登録が決定した。その構成資産は、縄文時代の17の史跡・特別史跡である。このうち北海道には、千歳市キウス周堤墓群、伊達市北黄金貝塚、洞爺湖町入江貝塚・高砂貝塚、函館市大船遺跡・垣ノ島遺跡という6つの史跡が所在している。

世界遺産は文化遺産・自然遺産・複合遺産からなる。日本国内には、北海道・北東北の縄文遺跡群を含め20（複数国に資産がまたがる例を含む）の文化遺産が存在する。しかし、それらは法隆寺や姫路城、厳島神社、百舌鳥・古市古墳群をはじめとして多くが西日本にあり、北海道内からの登録は初めてのことである。身近な文化遺産である縄文遺跡群は、道民の誰もがよく知り、訪れたこともある、というものではないのかもしれない。今回の登録を契機として、縄文遺跡群の意義に多くの人々の眼が向けられるようになることを期待したい。

世界遺産とは、そもそも1972年にユネスコ総会において採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づく。普遍的価値をもつ遺跡・景観・自然等を登録し保存することを目的としており、対象は有形の

北海道・北東北の縄文遺跡群は、壮麗な城郭とも、優美な宗教建築とも、巨大な墳墓群とも異なる。植物栽培を一部でおこないつつ、生業の基盤を狩猟や漁労、植物採集におき、比較的小規模な社会組織のもとに暮らしていた人々の集落、食料資源の獲得のために形成され様々な活動が累積していた貝塚、死者を葬っていた墓地などである。これらは、他の文化遺

縄文遺跡群の世界遺産登録

北海道大学 埋蔵文化財調査センター
高倉 純

Opinion!



不動産で、真実性（文字通り「本物」であること）と完全性（保存状態が良好で、全体のコンセプトを満たす必要十分な資産であること）の条件を満たし、適切な保護管理がなされていることを登録の要件としている。

産と比較して「地味」に映るかもしれない。しかし、都市や国家が形成されるのとは異なる時代背景のなかで残された文化遺産の意義が認識され、後世に保存される契機ができたことは重要な意味を持っている。

縄文遺跡群が人類にとって普遍的価値を有する文化遺産として評価された背景には、縄文時代の人々が、時期や地域により気候変動や火山噴火などの影響を受けつつも、長期にわたって多様な景観の中で豊富な水産資源・森林資源を活かした生活、あるいは複雑な祭祀・儀礼を存続させていたことがあげられよう。ただし、自然と「共生」した、持続的な定住社会とする像には、私にはかねがね疑問を感じてきた。近年、われわれ現生人類（ホモ・サピエンス）は、アフリカ大陸からユーラシア大陸やオセアニア大陸の各地に拡散していった当初の段階から、自然環境を自らの資源利用に適合的にするために意図的に改変していたとする研究成果が各地で提示されている。縄文時代の人々と自然環境との関係についても、現代的な「共生」の物語によって重要なシグナルを見落としてはいないだろうか。人類と自然環境の関係を見つめ直す多様な視点を生み出すための素材が、縄文遺跡群にはまだまだ秘められていると考

地域個体群研究会 風張 喜子
 北海道大学 朴 炫 貞
 COSTEP 特任講師
 北海道大学アイヌ・先住民研究センター 石原 真衣

ニホンザル こぼれ話

■第7話■

地域個体群研究会 風張 喜子



実はウンとお役立ち!?

先日、夫と釣りに出かけました。漁港はすでに釣り客でぎわっていて、そばの空き地の隅にようやく駐車スペースを確保できました。ところが助手席側の窓から、なにやら汚れたティッシュペーパーが落ちてくるのが見えます。これは、間違いないくアレです。仕方がないので、車内を移動して運転席側のドアから外に出たのですが、「もしかして、タイヤで踏んだ？」と妙なドキドキ感を味わいました。その名を冠したドリルが大流行するほど好きなのに、いざホンモノを前にすれば

尻込みしてしまいますよね。ウンコに対するわたしたちの反応は複雑です。

ニホンザルは見通しの良い場所です。倒木や岩に登って周りを見渡しながら用を足すのをよく見ます。景色の開けた遊歩道を歩けば、何頭もの糞が点々と続いていることもあります。ところで、サルは地面を歩くとき、落ちてくる木の枝や石ころなどいろいろなものを踏んづけますが、糞は踏みません。たくさんのサルがそばを通った後のどの糞も、この世に生み出されたままの形をちゃんと保っています。糞に触れるのは避けているようです。たった一度しか見たことがありませんが、木から降りる途中ではよはやの糞を手でつぶした時には、ちよつと焦った様子で近くの岩に手をこすりつけていました。彼女は、何かに気を取られていたんでしょう。後から降りてきたサルは誰も踏んでいませんでした。

絶対に触れないように気を付けているのかと思えば、実は柔らかな糞をする時期にはお尻や



何を食べてこうなった?

背中にごびりつかせているのもしょつちゅう目にします。糞をしたすぐそばに座ったり、寝転がったりするからです。手や足では触れたくないけれど、他の部分で汚れるのはあまり気にしていないのかもしれない。糞がついていても仲間から毛づくろいしてもらえますが、触りたくないのか汚れが気にならぬのか、ごびりついた糞が取り

除かれるのは見たことがありません。

ほかの霊長類ではどうでしょう? ボノボが糞に嫌悪感を持っていかどうかを調べた研究によると、オトナは糞で汚れた食べ物には一切手を付けません。ヒトの子供が地面に落ちて汚れても気にせず、口にに入れるのと同じように、

いじわるじいさん

自宅近くにトチノキの街路樹がある。電線を超える高木で、初夏に白い花をつけていたが、今は舗道に枯れ葉を落としていた。胆振東部地震の時には、消えた信号機の横に立っていた樹だ。この並木に、「植え替えます」という通知が貼られている。見上げると、梢に残った葉が傍の建物の四、五階あたりで風に揺れていた。建物の窓から、誰か見えているだろうか、アンネのように、と思いが飛ぶ。

トチノキは、『アンネの日記』にマロニエとして登場する。四階隠れ家の屋根裏部屋から、恋の相手の少年と見つめたのが、枝に露がきらめくマロニエと鳥の群れだった。生き生きとした光景に感動して、二人は口もきけない。ナチス占領下のオランダ、隠れ家暮らしの不安と緊張の中の幸せの一瞬だ。私はこの場面を忘れられない。半年後に、隠れ家の住人達は拘束され、さらに半年後の1945年、解放される直前の収容所で、15歳の少女は逝った。近所の街路樹は街の景色に馴染んでいる。私だけでなく、住民の様々な記憶に繋がりにしているだろう。このトチノキが消えるのは寂しいが、代わりにハシドイが植えられるらしい。ハシドイには悲しい記憶が刻まれないことを願うばかりだ。

(今日子)



倒木の上でスタンバイ?...ほら、ピンゴ!

コドモのボノボは汚れを気にせず食べてしまいます。糞に対する嫌悪感、寄生虫や病原体から身を守るのに役立っているとも考えられています。それなのにコドモの嫌悪感が弱いのは、幼い時に汚いものに接することが免疫機能の発達に役立つからかもしれないのだとか。野生のチンパンジーでは、稀ですが食料不足の時期に糞や含まれる未消化の物を食べることが報告されています。動物園のチンパンジーがお客さんに糞を投げつけるなんて話も聞いたことがありますよね。手近な「飛び道具」がそれしかないから、

投げた時のお客さんの反応が面白いから、と理由もいろいろ考えられているようです。霊長類は基本的にはウンコ嫌いなのもかもしれません。ただし、活用法がある場合にはその限りではないといったところでしょうか。日本でも、尿が堆肥として高値で取引されていた時代があったそうですしね。

さて、一般に毛嫌いされる糞ですが、たくさんの方に活用されています。糞はまさにお宝の山です。野生の霊長類を捕まえての資料収集は相手の負担が大きすぎるし、本来の行動を変えてしまう可能性もあります。糞を少しもらうだけならその心配はありません。糞に含まれる化学物質を調べれば、いろいろな観点から体の状態を知ることができます。例えば、性ホルモンに関する分析から、ヒト以外の霊長類にも、体が妊娠に備えていない時期の繁殖に直結しない行動が見られることが分かりました。研究者や観光客が絶滅危惧の類人猿に与えるストレスを調べる研究なんかもあります。また、糞の表面についている微量の細胞からDNAを取り出すこともできます。DNAの加齢で変化する部分を調べると年齢を推定できるようですが、

最近、チンパンジーの糞DNAでも年齢推定に成功したそうです。ニホンザルは長くと30歳くらい、チンパンジーなら50歳近くまで生きます。だから、全員が年齢を把握できるほど長年の観察が続けられている群れは、世界でも数えられるほどしかありません。若い個体なら外見でだいたいの年齢が分かりますが、ある程度歳をとっていると難しくなります。長年の観察がなくても個体の年齢や群れの構成が分かるようになれば、野生の霊長類の生態を理解するのに役立つことでしょう。

糞を研究に活用するには、まず現物を集めます。開けた場所にまとめてしてくれる時ばかりではないし、さらに1頭1頭の糞を区別して集めるとなるとちょっと大変です。でも、大丈夫。しばしの食休みのあとに群れが移動を始めたなら、お目当てのサルのお尻に注目。岩の上でお尻を浮かせて立ち止まり、しっぽが反り返ったらいよいよです。ここからは絶対に目をそらしてはいけません。糞が落ちた先を見失うと、下生えに紛れ

て見つからなくなるからです。どこに落ちるかをよく見て、サルが立ち去ってから駆け付けると：あった、あった！糞採集のテッパンです。

糞の高度な活用法はたくさんありますが、わたしにとってはサル探しの道標。主食が季節替わりなら、糞も季節替わりです。新しい糞を見つけたら、色や形から、時には棒でほじくって中身を見て、今、何を主食にしているのか見当をつけます。ふわふわの繊維が混じった白っぽいモコモコの糞ならブナの花、鮮やかな黄緑色ならケヤキやメギの芽吹きです。ビーズみたいな赤いつぶつぶがたくさん入っていたら、ノイバラやガマズミの果実。その食べ物のある場所を探し回ればサルに会える確率がぐっと高まります。夏には糞虫に分解されてすぐに糞が消えてしまいますが、新しい糞がたくさん落ちていれば群れはそう遠くまで行ってはいないはず。もうすぐ会える。はやる気持ちを抑えて慎重にサルの気配を探ります。

アノハシに、さよならを

北海道大学 CoSTEP 特任講師 朴炫貞

肌寒い夜空にふわっと、切断された橋が浮かび上がりました。鉄やコンクリートでできているガッツリした構造物だと思えないほどの緩やかな動きに、時間が止まったかのように感じました。半世紀間道路の上にあった橋が、切断されて地面に降りた時。重機が動く様子に圧倒されながら、心の底から悲しみと寂しさがじわっと広がりました。

2021年10月20日と25日、両日の夜行われた跨道橋の撤去工事のことです。札幌キャンパスと札幌研究林苗畑をつなぐ、石山通りを渡る跨道橋が、老朽化のため撤去されました。札幌冬季オリンピックに向けて、当時北大の敷地だった場所に石山通りを通すために、分断されるキャンパスをつなぐために建てられたと言われています。新型コロナウイルスの関係で1年伸びた2020東京オリンピックが開催された後に撤去されたことで、一つの時代の節目になったように思います。



撤去工事は8月から始まって、この両日には石山通りを夜間通行止めにし、橋の上部を二つに切断し、西側と東側にそれぞれ下す作業が行われました。橋にワイヤを吊るす穴を開け、切断された橋は超大型クレーンによって移動されました。橋が通れなくなり、徐々に両端からブロックが無くなっていき、その分解されたものはリサイクルや廃棄のため、橋の横に積まれていました。橋がどんどん因数分解されているように、見えました。

私は2020年秋から、札幌研究林苗畑にある古い温室をフィールドに、アノオンシツというアートプロジェクトを始めています。そのきっかけは、古くて研究のために使えない温室や、温室に向かうためには必ず渡る、撤去予定だった橋が魅力的な物語として感じられたからです。温室がある橋の向こう側には一般公開されている扉などがいないため、一回渡ると必然的に戻ってこなければいけません。しなやかなカーブでできていて、ビル背景でJRが見えるシーンや森と空が見えるシーン、石山通りを走る車の列を高いところから見渡せることまで、小さい森に向かう道には豊かなストーリーが浮かびました。

跨道橋は、石山通りを渡るのでたくさんの人々に見られているのに、北大関係者はもちろん、一般市民にも名前も正体もよく知られていませんでした。無くなる橋のことを記憶して、きちんとその記録を未来に残したいと思って、「さよなら、アノハシ」プロジェクトを始めました。どのメディアでも良いので、アノハシに対する思い出を投稿し、橋の撤去工事の様子を共にアーカイブしていくプロジェクトです。



アノハシは、「あの」をつける「橋」ですが、スペシャルなあの跨道橋をさします。普段のアノニマスなものが特別な何かに変わる瞬間は、さまざまです。その瞬間は、感情を揺さぶったり、行動を変えたりして、振り返ってみると自分に大きな影響を与えることもあります。記憶と記録、その間にある表現について「さよなら、アノハシ」を進めながら改めて考えます。残されていくものと忘れられるものの中には、どのような基準があるのかについて、「さよなら、アノハシ」を通して探っています。もしかして「アノハシ」と呼んだ瞬間、記憶と記録、表現の基準に対する鍵があるかもしれません。

アイヌからみた北海道150年

— “自分の言葉” で語ること —

北海道大学アイヌ・先住民研究センター 助教 石原 真衣

2018年、この大地は「北海道150年」を祝っていた。8月には天皇、皇后両陛下（当時）も出席した式典が開催された。北海道庁による「北海道150年事業」では、その基本理念について「縄文文化やアイヌ文化をはじめとする本道独自の歴史や文化、国内外に誇る豊かな自然環境は、かけがえのない道民の精神的豊かさの源です。（中略）互いを認め合う共生の社会を目指して、次の50年に向けた北海道づくりに継承します。」と述べられた。

このような状況のなかで、当時、自伝的民族誌（オートエスノグラフィ）と家族史によって博士論文を書き終えていた私は、これらの事業や式典においてアイヌの〈痛み〉の物語にまったく触れられていないことに違和感以上のものを覚えていた。アイヌとして生きている人、そしてその子孫は、“自分の言葉”で語らなくてはいけない。そのように強く思い、友人であるOKIさんに相談し、「自分たちの声をまとめて本にしよう」と心を決めた。その時の呼び掛け文を紹介したい。

『アイヌ150人からみた「北海道150年」(仮)』出版の目的

「北海道150年」、お祝いムードの今年、2018年。アイヌルーツの人間の声は、ほとんど聴くことができません。私は、講演などを通じて、私たち家族にとっての「北海道150年」の意味について、話してきました。それは、家族同士で、アイヌのルーツについて話すことすらできない、痛みを伴う、喪失の歴史でした。アイヌの人々は、今年、それぞれが、様々な思いを持っています。しかし、北海道全体がお祝いムードの中、そこに水を差すことはできない、という空気が、アイヌの人の中にあることも事実です。

様々なしがらみの中で、個人が発言するのは、大変なことです。一人一人が、安心して、発言できるような、アイヌ主導のメディアの創出が必要です。そこで、今回は、そのための第一歩として、『アイヌ150人からみた「北海道150年」(仮)』を出版することを考えました。内容は、匿名でも、一行でもかまいません。方法は、メールで投稿する、という簡単なものです。この第一歩を、モデルケースとして、今後、アイヌ主導のプロジェクトが、たくさんの方々によって、始まることを望みます。ご協力よろしくお願いいたします。

石原真衣

当初は、150人の方に書いていただくことを目指していたが、なかなか賛同いただける方を見つけることも当時の私には難しく、最終的には33人の方に寄稿いただいた。「お祝いムードに水を差したくない」と断られることもあり、心が折れそうになった。しかし、寄稿してくださったアイヌおよびその子孫のみなさんは、真摯にそれぞれの想いを綴って下さった。アイヌ遺骨問題において、北海道大学という研究機関によって傷つけられ、損なわれた人びとも寄稿してくれた。このような〈痛み〉を抱えた人びとが綴った言葉が、北海道大学出版会によって刊行されたことの歴史的意義は、とても大きいことを強調しておきたい。

共生社会とは、どのような社会なのか。少数者の多様な声をかき消すことなく、それぞれの経験や物語に耳を傾け、どのような未来を共に展望できるかを考え続ける。そんな構えが必要なのではなかろうか。本書は、アイヌの生の声によって、アイヌの痛みや悲しみによって、そしてアイヌが描く希望によって、読者に問いかける作品である。その問いをそれぞれが受け取り、共にいまと未来を歩んでほしいと心から願う。



(小田博志研究室<http://skyandocean.sakura.ne.jp/>より)
北海道大学の中央ローンとサクシュコトニ川。かつてアイヌコタンがあったことについては、大学の公式なアナウンスにおいて触れられていない。

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠

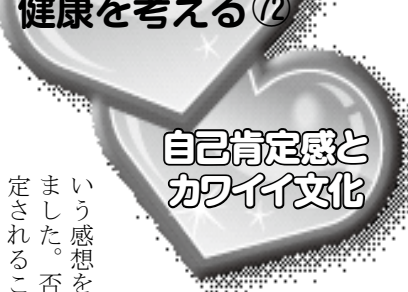


自分で自分のことを好きになれるか、という問題には、いろいろと難しい面があるな、とよく思います。自分について、少しは良い所もあるよな、とか、少しはイケてるよな、と思えないとなれば、とても生きづらいだろうと思います。自分を大切にしない、とはよく言われることですが、大切にしている自分なんてどこにもない、としか思えないなら、自分も他人も大切にしないんじゃないですか。どうも若いやつ、本人はもちろん、周りの人もずいぶん辛いのではないですか。

これは自己肯定感の低さと言っていると思います。この自己肯定感が、日本の若い世代で他国に比べて顕著に低いという調査があります。どうも若い人が自己肯定感を持ちづらい社会的要因が、この国にはあるようです。

子どもたちに人気のキャラクター「すみっコぐらし」には、食べ残されたエビフライのしっぽ、あぶらっぽ過ぎて一口だけしか食べてもらえなかったとんかつ、自分は本当はカツパだったかもと悩んでいるペンギン、いつもコップの底に残されて食べてもらえないのでやさぐれてるタピオカなど、すみっコ感にあふれた、そしてとつてもかわいいマイノリティたちが沢山います。「すみっコぐらし」が好きな子の中には、きらきらしたメイストリーム感のある子も結構いるんだかおかしのですが、みんな多かれ少なかれすみっコ感を持っているのかな、とも思います。

心理支援と教育という対人援助にたずさわる者として、自己肯定感を持ちづらい人に対して、何ができるのかな、と考えます。端的に言うと、相手を大切にすることかな、と思うところがあります。小学生の頃、釣り少年で魚が好きだったのですが、近所の市場で食用のドジョウを買ってきて、ウチの水槽で飼っていたことがあります。ドジョウたちは、買って来た頃は黒っぽくてヒレもとがり、動きもすばしっこくて何となくぎすぎすして



るのですが、飼っているうちに色が白っぽくなり、ヒレは丸くなって、体もふっくら、動きもなんとなくのんびりしてくるのでした。ある精神科医は、慢性の統合失調症の患者さんたちの病棟の担当になったら、病棟をぶらぶらして、会った患者さんに挨拶をして歩く、それを続けていくうちに病棟の雰囲気が良い方に変わってくるのだ、ということをおっしゃられました。別の精神科医は、人は愛にふさわしいから愛されるのではない、愛されるから愛にふさわしい存在になるのだ、といった意味のことを述べておられます。簡単に言うとかわいいから愛されるのではなく、愛されるからかわいくなるのだ、ということですね。

そんなことを心のどこかにとどめながら、心理面接や授業をするのですが、まあ、どういう影響があるのかは寛束ないところではあります。でも、この授業は不思議な空間だ、何を言っても否定されない、という感想をもらったことがありました。否定されないこと、肯定されること、それらは大切なんだという示唆かもしれません。

でも、人から大切にされるということは求めているとも限らないことでしょうか。だからこそ、あんなにもかわいいキャラクターたちが人気なのだろうとも思います。日本の「カワイイ文化」が他国でもかなり浸透しているようなのは、愛されることへの希求を普遍的に表しているということなのかもしれません。でも、もしかすると、とりわけこの国でそれが必要とされているということなのか：そう考えると、ウチの中にちよつとずつ増えてゆくかわいさ、すみっコたちも、なんだか心穏やかに見られなくなりそうに心配です。

ほけんのお話

自動車保険（以下、「保険」）の平均保険料が2021年1月に引き続き、2022年1月始期の契約から、12%引き下げになります。安全運転を支援する「安全運転サポート車」の普及やテレワークの増加などにより、自動車事故が減少し保険の収支が改善しているためです。平均なので、免許証の色、運転者の範囲や年齢条件、使用目的などの契約条件の変更、補償内容、割引の適用、保険会社によって保険料が上下します。

今回の保険料水準の改定にあわせて、保険会社は競争力確保のため、性能や機能が向上したドラレコ付き保険の普及、自動運転や心神喪失等による事故への対応、車両の買替え負担の軽減、弁護士費用特約の刑事弁護士大、人身傷害保険の補償の拡充、他にも様々な改定をしています。時間をとって代理店と確認しましょう。そして、契約時の自分の生活や運転状況に合わせて契約条件を確認したうえで、家族と自分を守るためにイメージを持つて必要な補償と保険金額を十分確認して契約しましょう。

『2020年度自動車保険の概況（損害保険料率算出機構）』によれば、契約1台当たりの保険金支払いは、「安全運転サポート車」の普及により、対人賠償保険と人身傷害保険、対物賠償保険が減少傾向にある一方で、自然災害の激甚化や修理費用の増加から車両保険は増加傾向にあります。北海道の保険普及率は、対人賠償71%、対物賠償72%、人身傷害68%、車両48%（全国の普及率とほぼ同じ水準）、保険金支払い時の事故類型は、対人対物賠償と人身傷害は「車対車」が7割前後に対し、車両事故は「車対物」と「車単独」で5割以上になっています。車両保険を「一般条件」「車対車危険限定」どちらにするかも確認しておきましょう。

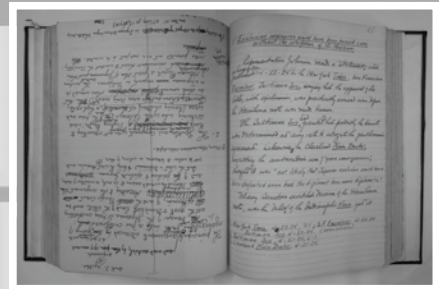
運転するときは必ず事故というリスクが伴います。後悔のない契約にしたいものです。



大学文書館へ 行こう

第7回 「展示はちょっと苦手」

北海道大学大学文書館 井上 高聡



ハロルド・レーンの自筆論文 (大学文書館蔵)
「映え」ないがたいへん貴重

今回は、「大学文書館へ行く」ではなく、「総合博物館へ行く」です。

「宮澤・レーン事件」

80周年特別展

一二月四日から来年一月三〇日まで、総合博物館において「宮澤・レーン事件」80周年特別展「事件をめぐる『出会い』と『絆』をたどる」を、総合博物館と大学文書館の主催、「宮澤・レーン事件を考える会」の協力で開催します。

「宮澤・レーン事件」は、一九四一年二月八日、アジア・太平洋戦争が開戦した日、思想犯などを取り締まる

特高（特別高等警察）が、北大工学部二年生の宮澤弘幸、予科英語教師ハロルド・レーン、ポリーリン・レーン夫妻を軍機保護法違反の容疑（軍事上の秘密を漏洩した疑い）で検挙した事件です。三名には懲役一五年、一二年の判決が下りました。レーン夫妻は後にアメリカ送還となり、戦後再来日し、ハロルドが北大の英語教師に復帰しました。一方、宮澤は終戦まで獄中生活を送り、戦後釈放されたものの一年余りで病死しました。事件から四五年後、弁護士上田誠吉が『ある北大生の受難』などの著書で、三名が冤罪であったと指摘しました。

「見る」展示を作る

少々重いテーマの展示ですが、ここでは、展示作りを取り上げます。

今回の展示では、宮澤弘幸の在学に関する文書、レーン在籍時の活動を示す資料、宮澤やレーン夫妻と交流のあった外国人教師たちに関する資料、上田誠吉が事件解明のために収集・作成した調査資料、宮澤弘幸の旧蔵資料アルバムなど、大学文書館が所蔵する資料を中心に展示のストーリーを作りました。これらの資料をストーリーに沿って展示ケースの中に陳列しています。陳列された実物の資料を見ること、資料そのものの視覚的な訴えや迫力を感じるこ



『満洲グラフ』に掲載された宮澤弘幸の論文 (大学文書館蔵) 文書資料も挿し絵があると見やすい

と、それが展示観覧の第一の楽しみであると思います。

しかし、今回の展示テーマでは、人間関係や事件の性質、法律の解釈など、込み入った内容も重要な要素です。どう説明が必要になります。そこで、説明パネルを多数設けています。展示ケースの中の資料を補い、ストーリーをより明確にする文字説明です。ただし、長々とした文字説明は観覧者にとってなかなかハードです。展示は本来「見る」ものですから、観覧に無理のない範囲に止める必要があります。展示を成り立たせるための文字説明の必要、展示を見やすくするための文字の削減、そのバランスは展示を作る際には常に課題となります。

展示は文字との戦い

加えて、大学文書館の主要な所蔵資料である文書資料は、視覚的にはたいへん地味です。文書資料は「読む」資料です。多くの場合、「読む」という作業を通じて、その価値や位置付けが分かるものです。「見る」だけではなかなか伝わりません。端的に言えば、「映え」ないので。文字資料は、展



宮澤弘幸とハロルド・レーン (宮澤弘幸旧蔵アルバム) 写真は心強い助っ人

示とはあまり相性が良くない資料と言えると思います。この「映え」ない問題も、大学文書館が展示を作るときに、常に付きまとう難問です。

文字説明をできるだけ少なくすることに注力し、文字資料の地味さを補う工夫をすること。展示は文字との戦いである、と私は思います。

さて、大学文書館がちょっと苦手な展示、今回の「宮澤・レーン事件」80周年特別展では、どんな塩梅でしょうか。実際にご覧いただき、展示の内容にはもちろん、展示作りの苦闘の跡にも、ご注目いただければと思います。

**クラーク
書籍便り**
Vol.06

今回は新書が多くラン
クインしています。
次の新書大賞は激戦に
なりそうです。興味をそそ
るテーマが多いので、是非ク
ラーク書籍にお立ちよりの
いただいでご覧ください。

クラーク10月一般書ランキング

	書名	著者名	出版社		書名	著者名	出版社
1	デジタル・ファシズム	堤未果	NHK出版新書	6	死者と霊性	末木文美士	岩波新書
2	「私物化」される 国立大学	駒込武	岩波ブックレット	7	椿井文書	馬部隆弘	中公新書
3	ケーキの切れない 非行少年たち	宮口幸治	新潮新書	8	宗教と日本人	岡本亮輔	中公新書
4	歴史修正主義 中公新書	武井彩佳	中央公論新社	9	ほくはイエローでホワイトで、 ちよっとブルー 2	ブレイデイみかこ	新潮社
5	マックス・ヴェーバー	今野元	岩波新書	10	それでも映画は 「格差」を描く	町山智浩	集英社インター ナショナル新書

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■オープンキャンパス活動を行いました。

北大のオープンキャンパス開催に
合わせて活動しました。企画として
は、Zoomによる対談企画「北大生
と話そう」やLINEを使った「L
INEで話そう」、受験生応援冊子
『NITOVE』の発行、YouTube
へのキャンパスツアー動画のアップ
ロード、HP上での北大生の生活を
再現したゲームの公開などを行いま
した。



▲NITOVE表紙

■店舗活動を行いました。

食堂にて、コラボメニューを提供
しました。売り上げと投票を見て、
最も人気だったメニューは再販とな
る予定です。

■学生委員会公式HP、Twitter

<https://hokudai-coop-gi.com/>
[@HU_COOP_GI_CS](https://twitter.com/HU_COOP_GI_CS)

学生委員会の活動や学生委員の
日頃の様子など、学生委員会のこと
について詳しく知りたい方は、公式
HP・Twitterをどうぞご覧ください。

■学生委員会連絡先

gakusei@coop.hokudai.ac.jp

学生委員会に意見・質問のある方
は、こちらのメールアドレスにご連
絡ください。

これからも学生委員会をよろしく
お願いします!!

院生委員会

■書評誌「ほんでないかい2021」
発行準備完了!

12月に開催される書籍店での
年末謝恩セールに合わせて、「ほ
んでないかい2021」を発行
します。様々な所属の学生から
の書評は毎年面白いものが多く
集まり、今年も北大ゆかりの人
にコラムを描いていただきまし
た。お楽しみに!

■院生委員会公式Twitter

[@Hokudainsei_coo](https://twitter.com/Hokudainsei_coo)

北大大学院生に向けて情報を発
信するために、昨年度4月より再
稼働しました。世の中のたくさん
の情報の中から北大の大学院生に
かわる情報を発信しています。
私たちが企画した大学院生向け
イベント情報なども発信してい
く予定です。大学院生や大学院進
学予定の学部生のみなさんはぜひご
覧ください。

■院生委員会連絡先

hokudai_insei@coop.hokudai.ac.jp

現在、院生委員会では大学院生
や大学院受験を控えた学部4年生
のみなさんにどのような活動・サ
ポートができるか検討していま
す。困っていることや要望があれ
ばぜひご連絡ください。

教職員委員会

■教職員総代会議…10月13・14
日、11月15・16日のお昼休みを利
用して、WEB会議により開催し
ました。学内7エリアの総代の皆
さんに、2日に分かれて参加して
いただきました。

10月の総代会議の声を受けて、11
月は書籍・食堂のマネージャーも
参加して電子書籍の購入方法や食
堂の企画について意見交流を行
いました。時間が足りなかったの
で、次月も同じテーマで交流する
予定です。

■教職員委員会…毎月1回、総代
会議であがった組合員の声や、企
画物の立案、「きぼうの虹」に掲
載する記事内容について討議して
います。10月14日・11月18日に
WEB会議と対面会議併用で開
催しました。

■「きぼうの虹」…この冊子です。
教職員委員会が編集し偶数月に発
行しています。

【編集後記】

新型コロナウイルスはその感染
力の勢いを少し落ち着かせており
ますが、社会や経済に与えた傷の
回復には少し時間がかかるので
しょうか。そのような中でも北海
道には世界遺産に登録されました
縄文遺跡群やアイヌ文化を理解す
るウポポイ博物館など新しい名所
が増えました。行動制限も緩和さ
れましたし、感染対策をしっかりと
して、一度訪れてみたいですね。